

新・東の風

令和6年度
6月号

昨日、好天の中第77回運動会が開催されました。今週初めの雨天で、予行練習ができず本番を迎え、私を含め各先生方は少しの心配を持っていました。ところが、開会式の集合・整列、開会宣言、校歌斉唱と生徒全員が運動会を成功させるんだという思いが見られ、心配が直ぐにくなりました。私が挨拶で、最後まで全力を出そう、応援をしっかりとしよう、そしてこの会場におられる人すべてが幸せになれるような空間を作ってほしいと話をしました。

午前中は個人種目を中心に行われ、50m走やバレーティー走では参加生徒全員が最後のゴールまで力を出し切っていました。応援席では自分たちのクラスの応援は当然のこと、他学年への応援も最初から声をからしての大声援で、その様子を見られていた来賓の方々も、東生野の運動会は子どもたちが本当に楽しそうにしているなあ、私もうれしくなると話されていました。中でもニールーム1年生のTさん、2年生のHさんがクラスのみんなと一緒に走り、ゴールした時のみんなの大きな拍手は二人に自信を持たせ、ほとんどの人たちが心を打たれました。Tさん、Hさん本当によく頑張りました。



先生の中には、君たちの頑張りに思わず涙ぐむ姿の先生も見られました。普段は教室での姿しか見れない先生にとって、運動会での予想以上の頑張っている姿に心を打たれたのでしょうか。学級担任をしていて、生徒の頑張っている姿を目の当たりで見て、心打たれたことは校長として、遠い昔に担任をしていた時にあったことが思い出されました。

また、運動会前日に遅くまで残って、教室の黒板に君たちに気合を入れるため、メッセージを残す先生も数名おられました。

こうした様々な生徒と先生の頑張りの点と点が結び付き、みんなが幸せになれる空間を作り出せました。毎年進化し続けるトンナマ運動会であるんだなあ、あらためて確信しました。

【ちょっと良い話】

令和6年度 大阪市中学生国際交流事業として、夏休みの期間、大阪市の姉妹都市であるメルボルン市で、授業体験・ホームステイ等による生活体験を通じ、オーストラリアの自然・社会・文化・歴史などの理解を深め国際感覚を養い、国際化に対応できる青少年に資することを目的とした派遣事業があります。見事、2年2組の津田蒼良さんが応募し、合格されました。

7月27日から8月7日の12日間、たくさんのことを学んでください。